

No. 22		2025 年 4 月 27 日	
復活後第一主日礼拝			
説教	『見ないで信ずる者は幸い』 吉丸初美師		
司会	高橋圭子さん		
奏楽	自動演奏機		
招詞	I ペトロへの手紙 1章3～9節		
主の祈	(5 6 4)		
讃詠	5	4	6
交読詩編	詩 1	1	6 編
祈禱			
讃美歌	21 - 3	2	1
使徒信條	(5 6 6)		
聖書	ヨハネ福音書 20章19～29節		
説教	教 (口語訳176頁、新共同訳210頁)		
『見ないで信ずる者は幸い』			
祈讃	美歌	1	4 9
献金	感謝		
報栄	告	5	4 1
頌祝	禱		
後奏	奏		
次週の礼拝 (復活後第二主日礼拝)			
説教	『良い羊飼い』 ヨハネ福音書 10章11節～16節		
招詞	I ペテロ1:3～9 交読詩編116篇		
讃美歌	546、21-120、152、540		
礼拝当番			
今週	27 日	司会 高橋さん	献金 剛家さん
次週	4 日	司会 山根さん	献金 市川さん
会堂清掃奉仕 5 月 9 日 (金)			
午後4時～ 有志			

本日の集会			
★教会学校	午前9時45分		
★コーヒータيم	礼拝後～		
それぞれの思いを語りあいましょう。			
●レコードコンサート	4月27日(日)13:30～16:00		
モーツァルト	交響曲第40番ト短調kv550		
ベートーヴェン	交響曲第6番ヘ長調『田園』		
※園庭に子どもたちが制作したこいのぼりが、三匹泳いでいます。大きな障子紙の色を選び、ちぎってうろこを作りました。ご覧ください。			
次週以降のスケジュール等			
★5月4日の主日礼拝	は聖餐式を執行します。		
★5月定例教会役員会	5月11日(日) 礼拝後		
	役員の働きと健康を覚えてお祈りください		
※めぐみ幼稚園理事会	5月18日(日)13時30分～		
★聖書を読む会	5月12日26日(月)10:30～		
	ヨハネ福音書から御言葉をいただきます		
定期教会総会の報告			
1. 教務報告、活動報告、活動総括は原案通り承認			
月に2回聖書を読む会を行う。			
2. 会計決算、予算案原案承認。修正版配布。			
3. 市川真美恵さん、白石百合子さん、高橋圭子さん			
根角静香さん、剛家英子さんが教会役員に、			
会計監査に白石百合子さんが選任された			
4. 教区総会議員 高橋圭子さん			
墓苑管理組合代議委員 市川真美恵さん			
※受難日祈禱会は4月18日に行いました。			
公 告			
第74回西中国教区定期総会			
5月20日(火)13時30分～21日(水)16時			
会場：広島流川教会			
先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	4(1)	11(1)	15(2)
受難日祈禱会	1	5	6

◇今週の説教要旨(復活後第二主日礼拝)

『見ないで信ずる者は幸い』ヨハネ福音書 20章19～29節

今日の箇所は復活のイエス様の姿が弟子たちに現れる場面です。私たちはしるしを求めることがあります。そこに確かな力のような、救い希望を見るからだと思います。聖書の中でも弟子でさえイエス様にしるしを求めています。そのしるしと信仰の関係について考えてみますと、まずしるしを見て不十分であるけれども何らかの信仰を持つと言うレベルがあります。次は、しるしの背後にある意味を見抜いてイエス・キリストこそ真理であるという信仰です。一つ進んだ信仰と言えます。もう一つは、そのしるしを見ないで信じる信仰です。十二弟子の一人トマスはイエス様の復活顕現を弟子たちから聞いても信じませんでした。共観福音書はトマスを十二弟子の一人として名前を挙げているにも拘わらず、トマスのエピソードを一切伝えていません。しかしヨハネ福音書によれば度々登場しています。ラザロの甦りの場面では、イエス様の言葉を勘違いして「私たちも行つて、一緒に死のうではないか」と、とんちんかんなことを言つて、弟子たちに死ぬ覚悟を迫りました。また、イエス様が昇天と再びおいでになる事を話された時は「どこに行かれるのか、私たちには分かりません」と訴えています。そして、今日の箇所では疑い深いトマスがいます。彼はイエス様には従つていこうとする主観的な意思は強く持っているが、先生であるイエス様の言葉をまだ十分理解できていない、疑り深い弟子ということが分かります。復活のイエス様の十字架の傷跡を見なければ信じないトマスにイエスは現れ「見ないで信ずる者は幸いである」と言われた。私たちはイエス様に会ったことは勿論ありませんが、信じています。その信仰は聞くことによるものであり、聞くことはキリストの言葉から来るのだと、パウロは言います。しかし、私はトマスの中に自分を見て救われた思いがしました。それは…